

15 観光立国に資する社会教育事例集

研究代表者 馬場 祐次朗（社会教育実践研究センター長）

①研究の趣旨，ねらい

地域の自然環境、歴史、文化等の特色について理解を深める学習活動や、その成果を生かした地域の伝統文化の保存・継承、自然環境等を考える取組、ガイドボランティア等特色ある社会教育事業を分析・考察することで、都道府県及び市区町村における観光立国の推進に資する学習活動等の企画・運営の参考となる資料を作成し、その活用の奨励を図る。

②研究成果の概要

○都道府県及び市区町村、社会教育施設や団体等が実施する地域の自然環境、歴史、文化等の特色について理解を深める学習活動や、その成果を生かした地域における取組等特色ある事業展開を行っている社会教育事業等を次の視点により類型化し考察を行った。視点と概要は次のとおりである。

ア 地域に関する理解を深める学習活動

地域住民が自分たちの住んでいる地域の自然環境、歴史、文化等の特色についての学習を行うことは、魅力ある地域として自らが暮らす地域の理解を深めるとともに、地域への誇りや愛着を醸成することができる。

イ 学習成果を生かした社会参加活動

住民が学習した成果を地域における活動として生かすことは、住民の地域社会への所属感を高めるとともに、住民によるまちづくり活動の推進や地域の活性化をはかり、魅力ある地域づくりを進めることができる。

ウ 地域づくりに貢献する活動展開

社会教育施設や関係機関、団体等が地域の特徴を生かし連携協力することで多様で広域的な活動展開が可能となり、地域の活性化を図るとともに来訪者への効果的な印象づけを継続的に行うことができる。

エ 地域の伝統文化の保存・継承活動

地域の伝統文化を保存・継承する活動は、活動を地域外へ発信することで、地域住民どうしの関係を深め、地域への誇りや愛着を深めるだけでなく、住民の保存継承に関わる意識を向上させ、地域の魅力や来訪者への魅力を増加させることができる。

オ 地域の自然環境等を考える活動

地域の自然や環境等について住民や来訪者が主体的に考え、学習を深める活動や活動の成果を生かす場を設定することで、その大切さを自覚し地域への愛着を深めるとともに地域の魅力を強く印象付けることができる。

- 今回取り上げた社会教育の実践事例の中には、観光立国に資すると考えられる多彩な成果・効果を生むものがあり、先導的事例の特徴や今後のさらなる発展の方向性が明らかとなった。
- 事例の多くが特別な事業を単発的に企画して、地域外から人々を集めることを念頭に入れた事業計画ではなく、地域に在住する「市民のため」を主眼とする事業計画を進めていることが多い。
- 先進事例には、本来地域の持っている様々な学習資源を最大限に有効活用しさらにはそれをより発展させようとする発想がある。
- 各事業は例外的な長期の事業を除き、いずれも3年～5年の事業計画を基に各事業を展開している。
- 予算は行政からの予算のみを当てにせず、関係者の協働のもと積極的に外部資金の獲得・調達に動いている。

③中期目標との関連性

- 中期目標〔目標4〕「社会教育分野での実践的な研究の推進」に関連するものである。特に観光立国に資する社会教育事業という、地域の特色等を生かしながら、幅広い視点に立った社会教育事業等の企画立案・運営の在り方を検討することから(2)「社会教育関係職員の資質向上を図る取組へ支援の実施」に関連するものである。
- 社会教育実践研究センターの活動目標【目標2】「社会教育事業を充実発展させるための新たな手法の開発や社会教育事業の検証・評価に関する調査研究を推進する」ことに関連するものである。特に地域の自然環境、歴史、文化等の特色を生かした学習活動や、学習活動を生かした社会参加活動等を展開する先導的な社会教育事業の在り方を調査・分析し、その手法等を紹介するものである。

④今後の研究予定

- 「住民が学んだ成果を地域で生かす」等、「知の循環型社会の構築」を目指した特色ある社会教育事業に関する調査研究に取り組む予定である。

⑤キーワード

- | | |
|---------------------|------------------|
| (1) 観光立国 | (2) 地域理解を深める学習活動 |
| (3) 学習成果を生かした社会参加活動 | (4) 地域づくり・まちづくり |
| (5) 地域の伝統文化の保存・継承 | (6) 自然環境 |

⑥本研究の研究報告書

- 観光立国に資する社会教育事例集

⑦関連する先行研究や参考となる研究等

- 「地域いきいき 観光まちづくり -100-」：国土交通省 平成18年
- 「地域いきいき 観光まちづくり 2008」：国土交通省 平成20年